

建築設備工事業における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	8~9	従業員が運転するトラックで会社から作業現場に向かって移動中、トラック車体右側中央分離壁に激突して交通事故を起こした。その際、助手席に同乗していた従業員がフロントガラスから投げ出されて重傷を負った。	32~49	30
6	20~21	社有車で移動中、高速道路で交通事故が発生した。事故現場はサービスエリア（SA）付近で、SAで休憩後、接触した模様である。自車は転覆し、相方車は横転した。本人は事故のショックでSA出発後の記憶が無く、事故の原因及び詳細は不明である。現在、警察署にて事故原因を捜査中である。	46~49	30
7	18~19	営業先で業務を終えて会社に帰社する途中、信号が赤に変わったため停止していたところ、後方から加害者運転の車が私の車にぶつかった。このため私は頭部を強く打ち負傷した。	36~99	50
7	18~19	納品現場から帰社するために高速道路を走行中、追越車線に車線変更したところ、路面が濡れていたため、車輛右前部から壁面に衝突し、負傷した。	39~49	30
9	7~8	仕事現場に向かう途中、自動車道下り出口を出た合流付近で、乗車中の車が雨でスリップ。合流線のポールを倒し反動で左側のガードレールに車体右後方が接触。その勢いで助手席側に横転し、そのまま100m程滑走したのち止まる。その際、助手席にいたため割れたガラスや地面の砂利などが左肘から手首まで数ヶ所刺さる。	32~29	10
9	7~8	仕事現場に向かう途中、自動車道下り出口を出た合流付近で乗車中の車が雨でスリップ。合流線のポールを倒し、反動で左側のガードレールに車体右後方が接触。その勢いで助手席側に横転し、そのまま100m程滑走したのち止まる。その際、助	66~	10

		手席の後ろに乗車。シートベルト未着用だったため、左右に体が大きくゆさぶられ、横転の際に左側を強打。脇腹、首などを痛める。		29
10	17～ 18	現場を終え、ダンプカーにユンボを乗せ帰社している道中、ゆるく左に曲がる道を走行していた際、重心が傾き右側に横転したもの。その際、右手掌及びひじをすりむいたもの。第3者や同乗者は無し。	26	1 ～ 9
10	13～ 14	社用車にて走行中、下り46キロポスト付近で、突然タイヤがバーストし、ガードレールに激突した。当日は、午前中にガス配管工事を終え、ガス器具販売店まで配管器具を購入するために高速に乗り走行中であった。	25	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html